

浦志地区に新しい駅を

筑肥線新駅設置促進期成会

1月17日、市役所本庁舎で浦志地区に新駅の設置を求める「筑肥線新駅設置促進期成会」の設立総会が開催され、およそ120人が出席。会長に市長が選任されました。

新駅の設置は、地域住民の利便性や福祉の向上、地域経済への波及効果など、市の発展につながると期待されています。

総会では、1万人以上の署名集めや、駅周辺の地域づくり計画などを策定し、JR九州に請願することなどが決まりました。



新駅設置に市の発展を期待し、期成会の設立総会が開催

深江駅家の謎に迫る

第4回飛び出せ博物館

伊都国歴史博物館では、今年度第4回目を迎える「飛び出せ博物館」を1月23日に開催。「深江駅家」の謎に迫りました。

駅家とは、7世紀後半ごろに確立したとされる駅伝制により、30里ごとに設置された建物で、当時の役人が馬を乗り継ぎながら情報伝達を行っていたと考えられています。

参加者たちは、「塚田南遺跡(深江駅家推定地)」や「鎮懐石八幡宮」を訪れ、熱心にメモを取っていました。



当時の専用道路と現在の自動車道の考え方が近いことを知り、驚く参加者たち

税金のたいせつきについて学ぶ

みんなのために使われる税金

可也小学校の6年生(103人)が1月24日、西福岡税務署の職員を招き、税の種類や使われ方など、税金について学びました。

学習では、学校で使われる子ども一人当たりの1年間の金額に驚いたり、救急車の費用が自己負担の国があるなど、国によって税金の使われ方が異なることなどを学びました。

また、税金についてのクイズや1億円(見本)の重さを確かめたりするなど、税金のたいせつきについて楽しく学習しました。



1億円の札束(見本)の重さを確かめる児童

それぞれの活動などを発表

解放学級経験交流会

伊都文化会館で1月23日、第38回解放学級経験交流会が開催され、関係者など600人以上が参加しました。

この日は、市内各地区にある10組の解放学級からさまざまな活動報告が行われ、視察などの報告のほか、地域の子どもたちと取り組む踊りなどの芸能も披露されました。

人権について正しく学ぶことはもちろん、子どもたちの人権意識を育成していく活動発表に、会場から拍手が送られていました。



各地域の解放学級の取り組みの発表に、会場から拍手が送られた

市の宝を火災から守る

文化財防火訓練を実施

地元住民や消防団、消防署などが参加して1月23日、二丈吉井の浮嶽神社と雷山の大悲王院千如寺、志摩桜井の桜井神社の市内3か所で、文化財防火訓練が実施されました。

これは1月26日の「文化財防火デー」の取り組みとして毎年行われており、各施設内の防火装置の点検も併せて実施されています。

雪がまだ残る千如寺では、サイレンが鳴ると、参拝者の避難・誘導が行われ、ときばきと消火作業が進められていました。



初期消火にあたる、地元のみなさん

ヤナギの木で作った大箸を贈る

新婚夫婦の家庭円満を願う

志摩野北久米地区の伝統行事「大箸祝い」が、1月20日に開催され、新婚の3組にヤナギの木で作った大きな箸が贈られました。

ヤナギの木は強く、お箸は一对で用をなすことから、風雪に耐える力で夫婦が協力し、家庭円満で健康な子どもが生まれるようにとの願いが込められています。

この1年間の地区内の新婚夫婦は3組で、すべて平野さん。直径5cm長さ20cmの大箸が贈られ、地域のみなさんで祝いました。



大箸のいわれを3組の新婚夫婦に語る神主さん